

<一般選抜>

【日本史】

- 問題冊子 8 ページ：Ⅲ 問 2
- 問題冊子 10 ページ：Ⅳ 問 3
- 問題冊子 11 ページ：Ⅳ 問 7

問題文および選択肢の記述に不適切な部分があったため、
適切な解答に至らないおそれがあると判断しました。

当該箇所の設問につきましては、解答の有無・内容にかかわ
らず、受験生全員に得点を与えることといたします。

- 問題冊子 12 ページ：Ⅴ 史料 A 9 行目

(誤)・・・2を派遣した。

(正)・・・2船を派遣した。

以上

日 本 史

(問 題)

2024年度

〈R06183319〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は4～14ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時		良い		悪い		悪い
マークを消す時		良い		悪い		悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子を持ち帰ること。

I 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

蝦夷^{えみし}とは、東北地方に住む人々を、古代国家が一括して呼んだ呼称である。その居住範囲は広く、日本海側では新潟市内に推定される 1、内陸部では米沢盆地に推定される陸奥国^{うきたものこおり}優越^{うき}曇評^{もりの}、太平洋側では仙台市の郡山遺跡（多賀城以前の陸奥国府）を結んだ線より北側の東北・北海道と考えられている。南北に長いこれらの地域の文化が均一だったはずはなく、宮城・山形・新潟県域ではヤマト政権の古墳文化^aの影響を受けたものだったし、北海道の蝦夷は紀元前から7世紀頃まで続いた 2 文化のもとで暮らしていた。その中間にあたる青森・岩手・秋田県域は、稲作文化の影響を受けつつ、アイヌ語系統の言語を話す蝦夷の人びとが暮らす、北と南の両方の文化が融合した独自の文化を有していた。

7世紀半ば以降、日本の古代国家は、蝦夷の居住地域に城柵を設け、その周辺に関東地方などから 3 を移住させる政策をとっており、それが独自の文化を有する現地の蝦夷との間にさまざまな摩擦を引き起こした。8世紀に入ると、律令国家は蝦夷への軍事的圧力を強めた。まず712年、日本海側に出羽国を設置し、733年には出羽柵を 4 に移して、のち 4 城と改称した。また太平洋側では720年に起きた蝦夷の反乱の後、支配の立て直しを図るため、新たな陸奥国府として724年に多賀城^bを設置した。757年、藤原仲麻呂は息子の一人を東北へ派遣し、律令国家の支配領域をさらに北へと拡大させた。その後の道鏡政権にも引き継がれたこの積極策が、次の戦争の引き金になった。

780年、蝦夷の反乱によって多賀城が炎上した。この時の大火災の痕跡は多賀城跡の遺構からもはっきり確認できるほどで、反乱の報を聞いた^c光仁天皇の衝撃は大きかったことだろう。翌年即位した桓武天皇は蝦夷に強硬な姿勢で臨み、武力制圧を目指す。しかし、蝦夷社会が、律令国家の侵略に対して組織的に抵抗できるほど成長していたこともあって、戦争は長期化した。こうした中で、阿弭流為のように優れた統率力を有する族長も育ち、^dこののち東北では30年以上も戦争が続くことになったのである。

問1 空欄1に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 淳足柵 イ 牡鹿柵 ウ 雄勝城 エ 桃生城 オ 志波城

問2 下線部aに関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 3世紀の中頃から後半にかけて、近畿や西日本各地に前方後円墳などが出現した。
イ 古墳を営む文化は、遅くとも4世紀の中頃までには東北地方中部まで波及した。
ウ 4世紀末から5世紀を古墳時代中期といい、副葬品に武器や馬具の占める割合が高くなった。
エ 5世紀前半以降、近畿の大王の墓以外では、大規模な前方後円墳の造営がみられなくなった。
オ 6世紀以降の古墳時代後期には、群集墳とよばれる小型古墳が爆発的に増加した。

問3 空欄2に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 弥生 イ 続縄文 ウ 擦文 エ 貝塚 オ オホーツク

問4 空欄3に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 防人 イ 俘囚 ウ 資人 エ 官戸 オ 柵戸

問5 空欄4に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 庄内 イ 酒田 ウ 秋田 エ 山形 オ 弘前

問6 下線部 **b** に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 胆沢城に移されるまで鎮守府がおかれた。
- イ 外郭には築地・材木堀が築かれた。
- ウ 城内の中央に政務をおこなう政庁があった。
- エ 伊治砦麻呂によって設置された。
- オ 発掘調査で大量の漆紙文書が発見された。

問7 下線部 **c** に関連する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 天智天皇の孫にあたる。
- イ 高市皇子の子にあたる。
- ウ 藤原宇合の子、藤原広嗣らによって天皇に推された。
- エ 聖武天皇の娘を妻として、その間に生まれた皇子が桓武天皇となった。
- オ 平城京から長岡京への遷都をおこなった。

問8 下線部 **d** に関連して、次のⅠ～Ⅲを時期の古い順に並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 徳政相論の結果、蝦夷との戦争の停止を決定した。
- Ⅱ 文室綿麻呂が派遣され、徳丹城を築いた。
- Ⅲ 坂上田村麻呂が蝦夷の族長阿弭流為を降伏させた。

- ア Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ イ Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
- エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ オ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

Ⅱ 次の史料を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、史料は一部書き改めたところがある。

史料

諸国の^a国司は一任四ケ年に過ず。当時の守護職は昔の国司に同じといへども、子々孫々に伝へて知行をいたすことは、春秋の時の十二諸侯、戦国の世の七雄に異ならず。所詮頼朝の大将^b後白河院の勅定として、六十六ヶ国の^c1に補せられしよりこのかた、守護職といふは武将の代官を承はれる由にて、当代にいたるまでも其例を追はるゝうへは、早く定め置かれたる御法をまもり、限りある得分の外は、そのいろひ（注1）をなさず。上には事君（注2）の節を尽くし、下には撫民の仁を施して、廉直の誉れ当世に聞、隠徳の行を末代に及さば、冥慮にも叶ひ、栄花を子孫に伝ふべきを、やゝもすれば無道を構へ猛悪を先とする事、かへすがへす思案なきにあらずや。^e貞永の式目には或いは国司・領家の訴訟により、或いは地頭・土民の愁鬱につきて、非法のいたり顕然ならば、所帯の職を改められ、穩便の輩に補すべき也。^d又建武の御法には守護職は上古の吏務也。国中の治否ただ此職による。もっとも器用に補せられれば、撫民の義に叶ふべきかと云々。此式条のごとくならば、時に従ひ人を選びて其職に補せらるべき由みえたるにや。（中略）又人数の欲しきことも誰かは願はしからぬ事にはあらざれど、正体なき家人に所領を多く宛て行なへば、^e後々は過分になりて、いさゝかも氣にあはぬ事のあれば、主をもとりかへんとす。かゝる事は目の当たりに見及ぶ事ども也。

（注1）「いろひ（綺）」とは、所領支配において実力を行使して不当な侵害や押領を行うこと。

（注2）「事君」とは、君に仕えること。

上の史料は、²が將軍³の求めに応じて撰進した『⁴』という意見書の一部である。当代きつての学者であった²が神仏の尊崇や為政者の心得、有職故実、足輕の停止等を全8カ条にわたって説いたもので、当時の社会や政治思想を知ることができる。

問1 下線部aに関連する次の文の正誤の組合せとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

I 律令の規定では、国司には任期があったが、郡司に任期はなかった。

II 受領は、任官されながら任国に赴かない国司のことである。

III 知行国主のなかには、自らが国司に任命されない者がいた。

ア I 正・II 正・III 誤 イ I 正・II 誤・III 正 ウ I 誤・II 正・III 正

エ I 誤・II 誤・III 正 オ I 誤・II 正・III 誤 カ I 正・II 誤・III 誤

問2 下線部bが源頼朝に対して出された直接の契機として、もっとも適切なものはどれか、1つ選べ。

ア 壇ノ浦で平家が滅亡し、平家没官領の支配権を認められた。

イ 源義経・行家を追討する院宣が出された。

ウ 朝廷から右近衛大将に任じられた。

エ 平家の都落ちにより、東海・東山道の支配を認められた。

オ 源義仲を追討する院宣が出された。

問3 空欄1にあてはまる語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 押領使 イ 惣追捕使 ウ 検非違使 エ 鎮守府將軍 オ 征夷大將軍

問4 下線部 c の「貞永の式目」と下線部 d の「建武の御法」について、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 「貞永の式目」は北条泰時、「建武の御法」は足利尊氏のもとで制定された。
- イ 「建武の御法」は「貞永の式目」から100年以上のちに制定された。
- ウ 「貞永の式目」は鎌倉で、「建武の御法」は京都でつくられた。
- エ 「貞永の式目」の条文数は、「建武の御法」の条文数の2倍であった。
- オ 「建武の御法」が出されても、「貞永の式目」は引き続き適用された。

問5 下線部 d の「建武の御法」より以前に守護に認められていた権限として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 守護請 イ 地下検断 ウ 刈田狼藉 エ 使節遵行 オ 半済

問6 下線部 e に関連して、守護大名の排斥事件を古い順に並べたとき、正しい組合せはどれか、1つ選べ。

- I 応永の乱 II 土岐康行の乱 III 明徳の乱
- ア I → II → III イ I → III → II ウ II → I → III
- エ II → III → I オ III → I → II カ III → II → I

問7 下線部 e に関連するできごとについて、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 足利義材（のちの義隆）は、細川政元によって將軍の座を追われた。
- イ 鎌倉公方足利成氏が関東管領上杉憲忠を殺害し、下野国古河に移った。
- ウ 伊勢宗瑞（北条早雲）が堀越公方の足利政知を滅ぼし、伊豆国を奪取した。
- エ 陶晴賢は大内義興に背いて自害させ、大内氏を滅亡させた。
- オ 松永久秀の家臣であった三好長慶が、將軍足利義輝を暗殺した。

問8 空欄 2・3・4 に入る人名や書名の組合せとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 2 一条兼良・3 足利義政・4 樵談治要 イ 2 二条良基・3 足利義政・4 公事根源
- ウ 2 一条兼良・3 足利義満・4 公事根源 エ 2 二条良基・3 足利義満・4 樵談治要
- オ 2 一条兼良・3 足利義尚・4 樵談治要 カ 2 二条良基・3 足利義尚・4 公事根源

Ⅲ 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

江戸時代の仏教は幕府の宗教統制を受けながら、その地位を保証されて安定化したが、教義的には停滞したといわれる。幕府は仏教の各宗派を厳しく統制し、人々に対しては宗門改帳を作成し、寺院の檀家になることを強制した寺檀制度^aを実施した。こうした仏教のあり方は「葬式仏教」といわれるが、村には寺院がつくられ僧侶をまねいて人々の信仰を支える場となり、家^cが仏教にもとづく先祖供養の単位となっていた。

江戸時代の仏教の教義は、明から1が渡来し、禅宗の一派である黄檗宗を伝えて、のちに宇治に2を開いた以外にはあまり進展がなかった。また、3が4を著して、仏教思想の発達という観点から仏教の經典の成立を論じるなど、仏教に否定的な考えも生まれた。

一方、民衆には現世利益を祈願する神仏への信仰が広まっていた。聖地・霊場への巡礼や寺社の参詣の多くは信仰と結びついていた。町や村の習俗として仏教行事や待行事が行われた。これらは本来宗教にもとづくものであったが、生活に根ざした行事になっていった。生活苦や社会不安が増大し、世直しの願望が高まると、f新たな民衆宗教がおこった。これらは生活に根ざした教えを説き、人々の心をとらえた。

問1 下線部aに関連し、幕府の宗教統制の施策として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 宗派ごとに諸宗諸本山法度を出した。
- イ 本末制度として各宗派の本山・本寺に末寺を組織させた。
- ウ 神社・神職に対しては諸社禰宜神主法度を制定した。
- エ 修験者（山伏）・陰陽師については本末制度を設けずに統制した。
- オ 日蓮宗の不受不施派はその教義のため弾圧された。

問2 下線部bに関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 宗門改帳はキリシタン禁制を徹底させるために作成した。
- イ 宗門改帳は寺院が檀家であることを証明したものである。
- ウ 人別帳と合わせた宗門改人別帳は、戸籍の役割を果たすようになった。
- エ 宗門改人別帳は九州北部などキリスト教信者の多い地域に限って作成された。
- オ 寺檀制度では、武士や神職も檀那寺の檀家になった。

問3 下線部cに関連し、武士の家に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 家の存続が重視された。
- イ 家長の権限が強かった。
- ウ 本家・分家の上下関係があった。
- エ 女性は一般的に男性の下位におかれた。
- オ 分割相続が一般化していた。

問4 空欄1・2に該当する人名と寺院名の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| ア 1 隠元隆琦・2 万福寺 | イ 1 隠元隆琦・2 崇福寺 | ウ 1 木庵性瑫・2 瑞聖寺 |
| エ 1 木庵性瑫・2 万福寺 | オ 1 鉄牛道機・2 崇福寺 | カ 1 鉄牛道機・2 瑞聖寺 |

問5 空欄3・4に該当する人名と書名の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|
| ア 3 山片蟠桃・4 夢の代 | イ 3 山片蟠桃・4 都鄙問答 | ウ 3 富永仲基・4 出定後語 |
| エ 3 富永仲基・4 夢の代 | オ 3 石田梅岩・4 都鄙問答 | カ 3 石田梅岩・4 出定後語 |

問6 下線部 d に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 阿波の金毘羅宮は全国的に信仰をあつめ、各地に金毘羅講がつくられた。
- イ 信濃の善光寺は、他所に出向いて行う出開帳でも有名であった。
- ウ 伊勢神宮へ集団参拝するお蔭参りは、人々の祈願が成就したときに行われた。
- エ 西国三十三か所は、中国地方を中心に行われた巡礼の札所である。
- オ 四国八十八か所は、伝教大師に関わる霊場である。

問7 下線部 e として、誤っているものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 五節句 イ 孟蘭盆会 ウ 日待講 エ 月待講 オ 庚申講

問8 下線部 f に関連し、19世紀に起こった民衆宗教とその創始者の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 黒住教・川手文治郎 イ 黒住教・出口なお ウ 天理教・中山みき
- エ 天理教・川手文治郎 オ 金光教・出口なお カ 金光教・中山みき

IV 次の文章を読み、問1～10に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

近代史は、「帝国主義」の問題を避けてとおることができない。この概念が一般化する19世紀後半までに、すでにアメリカ大陸やアフリカなどの地域では、イギリス・フランス・オランダ・スペイン・ポルトガルなどの帝国主義諸国による分割と植民地化が進んでいた。比較的遅かったアジアでも、独立を保っていた地域の多くが1910年頃までに列強の支配下に入った。幕末から明治期にかけて、急速に高まる外圧をかわし植民地化を免れながら近代化を達成した日本は、しだいに帝国主義の対象から植民地獲得競争に加担する側となっていった。

第一次世界大戦以降、もはや拡大すべき植民対象地がそれほど残されていない段階となると、世界的には帝国主義の動きは緩んでいく。その潮流の中で、あいつぐ対外戦争と深く結びついてきた日本の国際社会での地位向上と植民地獲得の野心は、より鋭く問われるようになり、国内の対外干渉政策（積極外交）の圧力を抑えて、当面は協調外交の維持に努めることとなった。この時期、国内的には、大正デモクラシーの思潮のなかで護憲三派が選挙で圧勝すると政党政治が「憲政の常道」となり、社会経済の面では独占資本の確立と地主制の後退が進んだ時期にあたる。デモクラシーの高揚のなかで都市化と大衆文化が進展する一方、農村では、経済的な閉塞感を背景に自主的改革を模索する「反都市的」な動きもみられるようになり、都市と農村の分解が一層あらわになった。その不満の一部は、窮乏する農村の救済にむけた政府主導の社会政策推進や、農本主義的な国家改造運動につながっていった。

このような地域（とそこに根差して生きる民衆）の間に見られる格差と対立の構図は、「帝国」日本の中心と周縁において幾重にもずれながら存在し、都市と農村ばかりではなく内地と沖縄の間、内地と台湾・朝鮮半島・満州などの実質的な植民地の間にも、表面的な同一化とはうらはらに、大きな政治的・経済的・社会的な差異や資源の収奪が温存され、周縁に対する分断と差別が解消されることはなかった。

世界の植民地の多くでは、第二次世界大戦への協力と引き換えに戦後の独立が約束されたり、大戦の過程で戦場となり生活基盤が破壊されたりした結果、大戦終結とともに民族解放運動が高揚した。日本の植民地や占領地域は、日本の降伏とともに解放されたが、独立を宣言した東南アジア各地域では旧宗主国が再進出を図り、朝鮮半島はアメリカとソ連によって分割占領されるなど、それぞれの独立と安定までには多くの苦難が伴うことになった。

問1 下線部 a に関して、1910年頃の植民地（おおむね一致する現在の国名）とその宗主国の組み合わせとして、誤っているものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア マレーシア：イギリス イ ベトナム：フランス ウ インドネシア：オランダ
エ ミャンマー：スペイン オ フィリピン：アメリカ

問2 下線部 b に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 日清戦争の結果、日本は初めての植民地として清より台湾・澎湖諸島を得た。
イ 日清戦争の勝利により日本の国際的地位は向上し、領事裁判権の撤廃が実現した。
ウ 日露戦争に勝利した日本は第2次日英同盟を結び、韓国への保護権をイギリスに認めさせた。
エ 日露戦争の後、不平等条約改正の最後の課題であった税権の完全回復が達成された。
オ 第一次世界大戦の後、日本は赤道以北のドイツ領南洋諸島の委任統治権を得た。

問3 下線部 c を推進した内閣の首相が総裁であった政党として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 政友本党 イ 立憲政友会 ウ 憲政会 エ 革新倶楽部 オ 憲政本党

問4 下線部 d とよばれた政党内閣の慣行は、五・一五事件で終焉を迎えた。この慣行が継続した期間の首相の人数（2回組閣した場合、同一人物は1と数える）について、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 4人 イ 5人 ウ 6人 エ 7人 オ 8人

問5 下線部 e に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 日本の独占資本の典型は、大銀行を中心に数多くの産業資本が結びつく巨大企業形態をとった。
- イ カルテルとは、産業部門別の企業連合のことで、生産調整や価格統制を行った。
- ウ トラストとは、同一の産業部門の企業が合同することで、自由競争を回避し市場の独占を図った。
- エ 四大財閥とは、三井・三菱・住友・安田のコンツェルンをさして呼んだ。
- オ 新興財閥とは、第一次世界大戦以降に急成長した、日産、日窒、大倉、理研などの企業を呼んだ。

問6 下線部 f のなかで創刊され、2023年に休刊となった雑誌はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 『赤い鳥』 イ 『週刊朝日』 ウ 『国民之友』 エ 『キング』 オ 『太陽』

問7 下線部 g に関して述べた記述Ⅰ～Ⅲの正誤の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 齋藤内閣のときに、自力更生と隣保共助を掲げた農山漁村経済厚生運動が始まった。
- Ⅱ 農本主義は、天皇と農業を立国の基礎におくようになり、日本型ファシズムの母体のひとつになった。
- Ⅲ 全国労農大衆党を脱党した橋孝三郎らは、日本国家社会党を結成し、農村救済運動に取り組んだ。

ア Ⅰ正・Ⅱ正・Ⅲ誤 イ Ⅰ正・Ⅱ誤・Ⅲ正 ウ Ⅰ誤・Ⅱ正・Ⅲ正
エ Ⅰ誤・Ⅱ誤・Ⅲ正 オ Ⅰ誤・Ⅱ正・Ⅲ誤 カ Ⅰ正・Ⅱ誤・Ⅲ誤

問8 下線部 h に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 日本の植民地経営の試金石となった台湾において、初代総督樺山資紀は皇民化政策を採用した。
- イ 日本に併合された朝鮮では、陸軍が警察機能を兼ねる憲兵警察制度などにより、抵抗が抑圧された。
- ウ 学校における標準語推進のため、罰として首から下げる方言札の使用は、とくに沖縄で厳しかった。
- エ 台湾では志願兵制度、朝鮮では徴兵制が施行され、軍人・軍属として数十万人が日本軍に従軍した。
- オ 労働力不足を補う連行は、当初の募集形式から、太平洋戦争開戦後には官斡旋となって強制化した。

問9 下線部 i に関連して起こったできごとⅠ～Ⅲを、古い順に並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 極東国際軍事裁判の結果、A級戦犯のうち東條英機らに死刑の判決が下った。
- Ⅱ 生活物資・食糧の不足から起きた悪性のインフレーションに対し、金融緊急措置令が公布された。
- Ⅲ 占領した連合軍軍がおいいたGHQから、治安維持法の廃止などを含む人権指令が出された。

ア Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ イ Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ オ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問10 下線部 j に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 南に李承晩を大統領とする大韓民国、北に金正日を首相とする朝鮮民主主義人民共和国が成立した。
- イ アメリカの支援を受けた韓国軍の北緯38度線侵犯を機に、北朝鮮軍との間で朝鮮戦争がはじまった。
- ウ 朝鮮戦争の勃発後、日本の治安維持を名目に警察予備隊が創設された。
- エ アメリカ軍の軍需品調達や武器修理の費用は日本のドル収入の約半分を占め、神武景気を迎えた。
- オ 半島全域が戦場化した後、ようやく板門店で休戦協定が調印され、終戦合意に至った。

V 次の文章および史料A～Dを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、引用した史料は一部書き改めたところがある。

日本列島の船の歴史をたどってみよう。

縄文時代には1本の本をくりぬいて造った丸木舟^aがあった。丸木舟は各地の縄文時代の遺跡から出土している。弥生時代になると、丸木舟のふなべりに板を付けた構造の船が造られるようになったことは、遺跡出土の船の部材や銅鐸に描かれた絵などからわかる。また、古墳時代の船は、船形埴輪などからその構造を詳しく知ることができる。弥生・古墳時代には、倭は中国や朝鮮半島との交渉を行ったが、その背景には船と航海技術の発達があった。

古代の日本と中国との通交は遣隋使、遣唐使に代表される。遣唐使船は通常4隻からなるので「よつのふね」と呼ばれ、多いときには約500人もの人々が渡航した。史料Aは、遣唐使で中国に渡航した日本の僧栄叡・普照が、中国の高名な僧 1 を招いたときの記事である。

史料A (天平元載(注1)冬十月)時に大和上揚州大明寺にあり、衆のために律を講ず。栄叡・普照師大明寺に至り、大和上の足下に頂礼(注2)し、具に本意を述べて曰く、「(中略)願はくは和上東遊して化を興せ(注3)」と。大和上答へて曰く、「(中略)誠に是れ仏法興隆有縁の国なり。今我が同法の衆中、誰かこの遠請(注4)に応じ、日本国に向ひて法を伝ふる者あるや」と。時に衆黙然として一の対ふる者なし。(中略)和上曰く、「これ法事のためなり。何ぞ身命を惜しまむ。諸人去かざれば、我すなわち去るのみ」と。

(注1) 733年 (注2) 頭を地につけて拝むこと (注3) 教化 (注4) 遠方からの招請

中世には、東アジアとの交易が活発になっていく。蒙古襲来による中断はあったが、中国・朝鮮との商船の往来は盛んであった。韓国新安沖で発見された沈没船は、14世紀前半に元から日本に戻ろうとした貿易船である。また、足利尊氏・直義は1342年に後醍醐天皇の冥福を祈る寺院の造営費用を調達するために 2 を派遣した。1368年に朱元璋が明を建国すると、足利義満は1401年に正使僧祖阿、副使 3 商人肥富とした遣明船を派遣し、1404年から日明貿易(勘合貿易)が開始された。遣明船は帆にはむしろを使い、船腹には櫓をこぐ台が付く構造であった。

近世に入ると、1635年江戸幕府は史料Bを制定して、交通の発達をうながすとともに大船の建造を禁じた。

史料B 一 道路・駅馬・舟梁等、断絶無く、往還の停滞を致さしむべからざる事。
一 私の 4 , 新法の津留、制禁の事。
一 5 以上の船、停止の事。

その後、鎖国体制下において、日本は朝鮮・オランダ・中国・琉球・蝦夷地との貿易を行うとともに、国内では廻船が就航し、航路が整備されるなど水上交通が発達していった。

近代の入り口にさしかかった「島国」日本では、海洋および船舶への関心が急速に高まった。1876(明治9)年に発行された「近世珍奇くらべ」を見てみよう。この一覧は、明治維新からおよそ10年が経とうという時期の東京の人々にとって、幕末から発行当時に至るまでの印象深いできごとを、相撲の番付を真似て並べたものである。字の大きい一段目24項目のうち、東には「安政六 ヨリヒラク 横浜之開港」「嘉永七 三月キヅク (註: 実際は嘉永6年8月より翌安政元年12月まで) 品川之御台場」、西には「安政元 海岸の御国め」「同八 (註: 同は元治をさすが明治の誤りか) 朝鮮江華港の艘戦」「同六 (註: 同は元治をさすが嘉永の誤りか) ヨリ 洋海波渡の蒸気船」「同年 (註: 明治元年をさすが、日本初の電信開通は明治2年となり誤りか) ヨリヒラク 海底迄通ル電信局」と、計6項目のできごとが海洋・海防・船舶に関係するものであった。記載の年月に不正確なものが多いのは、当時の大衆的な出版物にはまみられたことである。

この時期の明治政府にとって、日本列島の沿岸・近海における安定した海運、軍事輸送、外洋航路の確保、貿易振興の実現は、喫緊の課題であった。その方針は、台湾出兵に際して輸送を担当し、1875(明治8)年には上海航路へ進出した 6 によって書かれた史料Cの下線部などからもうかがうことができる。

史料C (前略) 而シテ我政府ハ現ニ内外航海ノ大権ヲ回復スルノ大責ヲ余ニ委^{まか}シタリ。余モ亦進取シテコノ重任^{にん}ヲ荷ヘリ。(中略) 公平公明ノ正路ニ由^{より}至^ゆ当^{あた}至^ゆ切^きノ運賃ヲ定メ、嚴然不拔ノ定律ヲ建テ、全国海運ノ規則ハ我ヨリ其例ヲ掲ゲザルベカラズ。想フニ社中間(ママ)此ノ意ヲ通知スルアタハズ、今日ニアリテモ猶昔日ノ旧慣ニ拘泥シ、務テ荷主ノ意ヲ迎ヘ運価ヲ左右シ、其意ヲ恣^{ほしいまま}ニセシメ、我ヨリ規則ヲ紊^{みだ}ルコトナキニ非ズ。思ハザルベケンヤ。(中略) 我国現今之形勢、切ニ海運ヲ要スルヲ知ラズ。国ニ一艘ノ船ヲ増セバ世ニ一艘ノ便^{かや}ヲ殖シ、其利益ハ即全国人民ノ頭上ニ落^{おつ}ルノ理ナリ。我方ニ全国人民ノ為メニ義務ヲ尽サントス。苟クモ他ノ船舶アリテ人民ニ利アラバ、我ト並立シテ共ニ国家ノ利益ニ供スベシ。(以下略)

合資会社 7 本社総務部編『社誌』第二号

上の告諭は、明治政府と密着して力を伸ばした 6 が、保護を受けるにふさわしい近代的な会社としての意識転換を社員に求めたものである。7 は、為替業・海上保険業などにも事業を拡大し、企業として成長を遂げていった。

一方、日本は外洋航海に耐えるような大型商船や軍艦の多くを欧米諸国からの購入に頼っていたため、外貨の節約と戦争時の軍用船の確保をめざす政府は、1896(明治29)年に造船奨励法と航海奨励法を公布し、大型の鋼鉄製汽船の国内における建造や、欧米・インドなどへの遠洋航路への日本船就航に、助成金・奨励金を交付した。

その成果もあって、1907(明治40)年頃までに日本の船腹量は100万トンを超えて、当時の世界の約3%に達して世界第6位の海運国に発展し、明治期後半からしだいに高まった日本の造船技術は、大正期には海外へ鋼鉄船を輸出するまでになった。とくに第一次世界大戦を機に急成長した日本の海運業は、大戦後から昭和初期にかけて世界 8 の水準となり、船舶の国産比率も日清戦争以前の約3割から約9割にまで高まった。

このような民間船舶の振興に比べると、軍艦の充実是国内の財政難もあって海軍の計画通りには進まなかった。陸海両軍の軍拡要求をめぐる対立は、しばしば政局運営の困難に結びついたことを、史料Dから読みとることができる。

史料D (前略) 三、閣議ニ於テ各大臣ヨリ圧迫的ニ論難スルニ会セバ、却テ此機会ニ於テ能ク露国及支那ノ現状ヨリ国防上ノ危殆ナル処^{なかんずく}以テ説明シ、就中国国防上ニ関スル明治三十九年以来ノ経過ヲ説示シテ、海軍ヲ拡張シ陸軍ノ経費ヲ削減シテ兵力ヲ縮小スルハ果シテ我国防ノ方針ニ適合スルヤ否ヲ論弁ス。仮令ヒ首相ヨリ辞職ノ旨^{やむ}ヲ得ザルガ如キ立場ニ陥レラルコトアルモ、能ク堅忍シ、国防ハ別ニ此ヲ掌ル陛下直隸ノ機関アルヲ以テ陸軍大臣ノ専断スベキ筋ノモノニアラザルコトヲ説キ、飽ク迄不同意ナルコトヲ保留ス。(以下略)

この史料は、陸軍首脳部の作成と推定され、第2次 9 内閣が海軍拡張を優先することを予想しつつ、対抗手段について記したものである。実際、ほぼ史料のシナリオ通りに政局は進み、内閣は1年数カ月の短命に終わった。

問1 下線部aに関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 丸木舟を使ったマグロ・カツオなどの沖合漁が行われた。
- イ 丸木舟による外洋航海も行われた。
- ウ 磨製石斧は、木の伐採や丸木舟の製作などに用いられた。
- エ 丸木舟の製作にあたって細部の加工には扁平片刃石斧が使用された。
- オ 丸木舟は、福井県鳥浜貝塚などの遺跡から出土している。

問2 遣唐使および空欄1の人物に関連する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 遣唐使の航路は、初め南路をとったが、8世紀以降は朝鮮半島西岸の北路をとった。
- イ 空欄1の人物がとった遣唐使の北路は、新羅との関係悪化のため危険であり、何度も渡航に失敗した。
- ウ 遣唐使の留学生阿倍仲麻呂は、日本への渡航に失敗し帰国できなかった。
- エ 石上宅嗣は、空欄1の人物の渡航記録である『唐大和上東征伝』を著した。
- オ 空欄1の人物は、正式の僧侶になるための戒律を伝え、律宗の西大寺を創建した。

問3 空欄2・3に該当する寺院名・地名の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 2 建長寺・3 堺 イ 2 建長寺・3 博多 ウ 2 東福寺・3 坊津
エ 2 東福寺・3 堺 オ 2 天龍寺・3 博多 カ 2 天龍寺・3 坊津

問4 空欄4・5に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 4 関所・5 五百石 イ 4 関所・5 八百石 ウ 4 港・5 千石
エ 4 港・5 五百石 オ 4 宿駅・5 八百石 カ 4 宿駅・5 千石

問5 下線部bに関連するできごとについての記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 幕府は、東海道沿いの条約対象地神奈川を避け、小漁村だった横浜を整備して開港地とした。
イ ペリー来航を機とする品川台場の急造以降、大砲を据える台場が全国に100カ所ほど築造された。
ウ 朝鮮に対し示威行動中の日本軍艦が江華島付近で砲撃を受け、対岸の永宗島砲台を占拠した。
エ 日本に初めて来航した蒸気軍艦を率いた司令長官ペリーは、『日本遠征記』を記した。
オ 国際電信を可能にした長崎・上海間の海底電線の敷設は、東京・長崎間の電信開通より早かった。

問6 空欄7・8に該当する語句や数字の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 7 共同運輸・8 第2位 イ 7 共同運輸・8 第3位
ウ 7 三菱・8 第2位 エ 7 三菱・8 第3位
オ 7 東洋汽船・8 第2位 カ 7 東洋汽船・8 第3位

問7 下線部cに関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア この大戦では、機関銃・焼夷弾・戦車・飛行機・毒ガスなどの近代兵器により、膨大な死傷者が出た。
イ 日本は日英同盟を理由に参戦し、地中海に潜水艦を派遣し、中国への積極的な進出をはかった。
ウ この大戦は、三国協商と三国同盟の対立を背景とするが、イタリアは中立から連合国側に転じた。
エ ドイツの降伏によりパリで開かれた講和会議には、日本から幣原喜重郎らが全権として派遣された。
オ 大戦終結後、アメリカ大統領ウィルソンの呼びかけにより、ワシントンで海軍軍縮会議が開かれた。

問8 史料Dについて、当時の空欄9内閣が直面したできごとⅠ～Ⅲの正誤の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

Ⅰ 「支那ノ現状」とは、おもに辛亥革命と中華民国の成立をさしている。

Ⅱ 「海軍ヲ拡張」とは、八・八艦隊の計画実現要求のことである。

Ⅲ 「陛下直隸ノ機関」であることを理由に、統帥権干犯問題が起きた。

- ア Ⅰ 正・Ⅱ 正・Ⅲ 誤 イ Ⅰ 正・Ⅱ 誤・Ⅲ 正 ウ Ⅰ 誤・Ⅱ 正・Ⅲ 正
エ Ⅰ 誤・Ⅱ 誤・Ⅲ 正 オ Ⅰ 誤・Ⅱ 正・Ⅲ 誤 カ Ⅰ 正・Ⅱ 誤・Ⅲ 誤

[以下余白]